

(標準型(施工体制確認型) 総合評価方式)
総 合 評 価 技 術 資 料

発注者

島根県知事長 様

住所

商号又は名称 ○○建設

代表者氏名 ○○ ○○

令和8年9月30日付けで入札公告のありました下記工事について、別添のとおり書類を添えて提出いたします。

1 工事名 (都)揖屋馬潟線 防災安全交付金(街路)事業 道路改良工事(第8期)

2 提出書類(下記項目の該当するもの)

- 技術提案(盛土の品質向上) (様式-2)
- 技術提案(周辺環境対策) (様式-3)
- 技術提案(地域住民とのコミュニケーション) (様式-4)
- 企業の工事成績評定点 (様式-5-1、様式-5-2)
- 企業の同種工事の施工実績 (様式-6)
- 企業の優良工事表彰(優良工事施工団体表彰) (様式-7)
- 登録基幹技能者の配置 (様式-8)
- 配置予定技術者の継続学習 (様式-9)
- 配置予定技術者の同種工事の施工経験 (様式-10)
- 配置予定技術者の優秀建設技術者表彰 (様式-11)
- 事業継続計画(BCP)認定及び防災協定の締結実績 (様式-12)
- ボランティア活動又はハートフルしまねへの参加実績 (様式-13)
- 県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績 (様式-14)
- 県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績 (様式-15)
- 建設キャリアアップシステム(CCUS)の活用 (様式-16)

3 問い合わせ先

担当者

部署

電話番号

FAX番号

E-mail

(様式－2)

評価項目(1)－①

会社(企業体)名: ○○建設

技術提案

課題: 盛土の品質向上	
技術提案の有無	(会社記載欄: 必須) 無の場合(標準案での施工)
技術提案が採用されなかった場合の標準案での施工の意志の有無	(会社記載欄: 上表で『有』と選択した場合のみ必須)
(発注者記載欄) 技術提案の記載方法等について ・ 標準案は、入札説明書本文を参照すること。 ・ 記載する内容は説明の要点(目的、具体的な手法<施工数量、施工位置、施工範囲、施工期間、使用材料、使用機械等>、効果、技術的な根拠、標準案に対する優位性等)が分かり易いようにまとめることとし、提案は3個までとする。 ・ 技術提案が「有」の場合、その提案が採用されなかった場合の標準案での施工の意志の記載がない又は「無」と記載すると、標準点を0点とする。 ・ 技術提案がない場合は、技術評価点の減点対象とする。	
技術提案がある場合、以下に記載する(会社記載欄)	※評価結果
① ○○○○○ (現場特性・概要) (時期、期間) (位置、範囲) (内容《誰が・何を・どうする》、数量、材料、機械等) (目的、効果、優位性) (効果の技術的根拠) (その他)	
② ○○○○○ (現場特性・概要) (時期、期間) (位置、範囲) (内容《誰が・何を・どうする》、数量、材料、機械等) (目的、効果、優位性) (効果の技術的根拠) (その他)	
③ ○○○○○ (現場特性・概要) (時期、期間) (位置、範囲) (内容《誰が・何を・どうする》、数量、材料、機械等) (目的、効果、優位性) (効果の技術的根拠) (その他)	
※備考	

※印の欄には記入しないでください。(発注者記入欄)

※「○(評価する)」とした提案以外については、履行義務なしとする。「×」とした提案は実施を認めない。

(様式－3)

評価項目(1)－②

会社(企業体)名: ○○建設

技術提案

課題: 周辺環境対策	
技術提案の有無	(会社記載欄: 必須) 無の場合(標準案での施工)
技術提案が採用されなかった場合の標準案での施工の意志の有無	(会社記載欄: 上表で『有』と選択した場合のみ必須)
(発注者記載欄) 技術提案の記載方法等について ・ 標準案は、入札説明書本文を参照すること。 ・ 記載する内容は説明の要点(目的、具体的な手法<施工数量、施工位置、施工範囲、施工期間、使用材料、使用機械等>、効果、技術的な根拠、標準案に対する優位性等)が分かり易いようにまとめることとし、提案は3個までとする。 ・ 技術提案が「有」の場合、その提案が採用されなかった場合の標準案での施工の意志の記載がない又は「無」と記載すると、標準点を0点とする。 ・ 技術提案がない場合は、技術評価点の減点対象とする。	
技術提案がある場合、以下に記載する(会社記載欄)	
※評価結果	
① ○○○○○○ (現場特性・概要) (時期、期間) (位置、範囲) (内容《誰が・何を・どうする》、数量、材料、機械等) (目的、効果、優位性) (効果の技術的根拠) (その他)	
② ○○○○○○ (現場特性・概要) (時期、期間) (位置、範囲) (内容《誰が・何を・どうする》、数量、材料、機械等) (目的、効果、優位性) (効果の技術的根拠) (その他)	
③ ○○○○○○ (現場特性・概要) (時期、期間) (位置、範囲) (内容《誰が・何を・どうする》、数量、材料、機械等) (目的、効果、優位性) (効果の技術的根拠) (その他)	
※備考	

※印の欄には記入しないでください。(発注者記入欄)

※「○(評価する)」とした提案以外については、履行義務なしとする。「×」とした提案は実施を認めない。

(様式－４)

評価項目(1)－③

会社(企業体)名：〇〇建設

技術提案

課題：地域住民とのコミュニケーション	
技術提案の有無	(会社記載欄：必須) 無の場合(標準案での施工)
技術提案が採用されなかった場合の標準案での施工の意志の有無	(会社記載欄：上表で『有』と選択した場合のみ必須)
(発注者記載欄) 技術提案の記載方法等について ・ 標準案は、入札説明書本文を参照すること。 ・ 記載する内容は説明の要点(目的、具体的な手法<施工数量、施工位置、施工範囲、施工期間、使用材料、使用機械等>、効果、技術的な根拠、標準案に対する優位性等)が分かり易いようにまとめることとし、提案は3個までとする。 ・ 技術提案が「有」の場合、その提案が採用されなかった場合の標準案での施工の意志の記載がない又は「無」と記載すると、標準点を0点とする。 ・ 技術提案がない場合は、技術評価点の減点対象とする。	
技術提案がある場合、以下に記載する(会社記載欄)	
※評価結果	
① 〇〇〇〇〇〇 (現場特性・概要) (時期、期間) (位置、範囲) (内容《誰が・何を・どうする》、数量、材料、機械等) (目的、効果、優位性) (効果の技術的根拠) (その他)	
② 〇〇〇〇〇〇 (現場特性・概要) (時期、期間) (位置、範囲) (内容《誰が・何を・どうする》、数量、材料、機械等) (目的、効果、優位性) (効果の技術的根拠) (その他)	
③ 〇〇〇〇〇〇 (現場特性・概要) (時期、期間) (位置、範囲) (内容《誰が・何を・どうする》、数量、材料、機械等) (目的、効果、優位性) (効果の技術的根拠) (その他)	
※備考	

※印の欄には記入しないでください。(発注者記入欄)

※「○(評価する)」とした提案以外については、履行義務なしとする。「×」とした提案は実施を認めない。

(様式-5-1)
評価項目(2)-①

企業の工事成績評定点
会社(企業体)名: ○○建設

対象工事	完成年度	令和5年度から令和7年度(完成及び引き渡し完了)
	発注機関	島根県(総務部、農林水産部、土木部)
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

工事成績評定点の平均 (小数第2位を四捨五入)	件	点
----------------------------	---	---

- (1) 対象工事の工事成績評定点一覧表(別紙)を添付すること。
- (2) 工事種別については、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。
- (3) 単年度の対象工事件数が60件を超える場合、「工事成績評定点の平均」欄の「件数」及び「平均点」は、自動計算されないため、直接記入すること。
- (4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

工事成績評定点一覧表(別紙1枚目)

会社(企業体)名：〇〇建設

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
1	R5					点
2	R5					点
3	R5					点
4	R5					点
5	R5					点
6	R5					点
7	R5					点
8	R5					点
9	R5					点
10	R5					点
11	R5					点
12	R5					点
13	R5					点
14	R5					点
15	R5					点
16	R5					点
17	R5					点
18	R5					点
19	R5					点
20	R5					点

(1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
(2) 工事種別、工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

工事成績評定点一覧表(別紙2枚目)

会社(企業体)名：〇〇建設

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
21	R5					点
22	R5					点
23	R5					点
24	R5					点
25	R5					点
26	R5					点
27	R5					点
28	R5					点
29	R5					点
30	R5					点
31	R5					点
32	R5					点
33	R5					点
34	R5					点
35	R5					点
36	R5					点
37	R5					点
38	R5					点
39	R5					点
40	R5					点

(1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
(2) 工事種別、工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

工事成績評定点一覧表(別紙3枚目)

会社(企業体)名：〇〇建設

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
41	R5					点
42	R5					点
43	R5					点
44	R5					点
45	R5					点
46	R5					点
47	R5					点
48	R5					点
49	R5					点
50	R5					点
51	R5					点
52	R5					点
53	R5					点
54	R5					点
55	R5					点
56	R5					点
57	R5					点
58	R5					点
59	R5					点
60	R5					点

(1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
(2) 工事種別、工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

工事成績評定点一覧表(別紙1枚目)

会社(企業体)名：〇〇建設

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
1	R6					点
2	R6					点
3	R6					点
4	R6					点
5	R6					点
6	R6					点
7	R6					点
8	R6					点
9	R6					点
10	R6					点
11	R6					点
12	R6					点
13	R6					点
14	R6					点
15	R6					点
16	R6					点
17	R6					点
18	R6					点
19	R6					点
20	R6					点

(1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
(2) 工事種別、工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

工事成績評定点一覧表(別紙2枚目)

会社(企業体)名：〇〇建設

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
21	R6					点
22	R6					点
23	R6					点
24	R6					点
25	R6					点
26	R6					点
27	R6					点
28	R6					点
29	R6					点
30	R6					点
31	R6					点
32	R6					点
33	R6					点
34	R6					点
35	R6					点
36	R6					点
37	R6					点
38	R6					点
39	R6					点
40	R6					点

(1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
(2) 工事種別、工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

評価項目(2)-①

工事成績評定点一覧表(別紙3枚目)

会社(企業体)名: ○○建設

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
41	R6					点
42	R6					点
43	R6					点
44	R6					点
45	R6					点
46	R6					点
47	R6					点
48	R6					点
49	R6					点
50	R6					点
51	R6					点
52	R6					点
53	R6					点
54	R6					点
55	R6					点
56	R6					点
57	R6					点
58	R6					点
59	R6					点
60	R6					点

- (1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
(2) 工事種別、工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

(様式-5-2)
評価項目(2)-①

【令和7年度完成工事分】

工事成績評定点一覧表(別紙1枚目)

会社(企業体)名: ○○建設

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
1	R7					点
2	R7					点
3	R7					点
4	R7					点
5	R7					点
6	R7					点
7	R7					点
8	R7					点
9	R7					点
10	R7					点
11	R7					点
12	R7					点
13	R7					点
14	R7					点
15	R7					点
16	R7					点
17	R7					点
18	R7					点
19	R7					点
20	R7					点

(1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。

(2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

工事成績評定点一覧表(別紙2枚目)
会社(企業体)名：〇〇建設

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			
21	R7					点
22	R7					点
23	R7					点
24	R7					点
25	R7					点
26	R7					点
27	R7					点
28	R7					点
29	R7					点
30	R7					点
31	R7					点
32	R7					点
33	R7					点
34	R7					点
35	R7					点
36	R7					点
37	R7					点
38	R7					点
39	R7					点
40	R7					点

- (1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
(2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

工事成績評定点一覧表(別紙3枚目)
会社(企業体)名：〇〇建設

申請 番号	完成 年度	発注機関名	工事種別	工事名	工事成績 評定点	
			建設工事の種類			点
41	R7					点
42	R7					点
43	R7					点
44	R7					点
45	R7					点
46	R7					点
47	R7					点
48	R7					点
49	R7					点
50	R7					点
51	R7					点
52	R7					点
53	R7					点
54	R7					点
55	R7					点
56	R7					点
57	R7					点
58	R7					点
59	R7					点
60	R7					点

- (1) 対象工事が60件を超える場合は、本様式を複写し申請番号を修正のうえ、提出すること。
(2) 工事種別、建設工事の種類は、各工事の契約時における「島根県土木工事仕様書」等において確認すること。

(様式-6)
評価項目(2)-②

企業の同種工事の施工実績
会社(企業体)名: ○○建設

対象工事	対象期間・対象機関	平成28年度から入札公告日前日までに完成及び引き渡しが完了した島根県発注工事
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事
	同種工事の定義	元請または共同企業体(経常JVを除く)の構成員(ただし出資比率20%以上)として施工した、矢板長9.5m以上の鋼矢板(圧入方式)打設工を含む完成及び引き渡しが完了した工事をいう。 ただし、工事成績評定点が73点未満の場合のものは実績として認めない。

工事内容		施工実績①	施工実績②
工事名称等	工 事 名		
	コリンズ登録番号		
	発注機関名		
	工事種別		
	建設工事の種類		
	施工場所		
	請負金額(最終・税込)	円	円
	契約上の工期	(始) 年 月 日	年 月 日
		(終) 年 月 日	年 月 日
	受注形態		
	特別(特定)JVの場合、出資比率		
工事成績評定点		点	点
工事概要	(以下、工事数量等を求めた場合) 施工規模		
	形式		

- (1) 施工実績(上表記載内容)全てが確認できるよう下表を参考に資料①～⑨を組み合わせ提出すること。
- ① コリンズの「登録内容確認書」の写し。(竣工登録に限る。)
 - ② 最終の見積参考資料(設計の変更回数を確認できる総括情報表と工事内訳表)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)＋項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
 - ③ 当初、変更を含む契約書全ての写し。
 - ④ 項目別評定点表。(島根県発注工事に限る。)
 - ⑤ 竣工検査済証の写し。
 - ⑥ 工事成績評定通知書の写し。ただし、工事成績評定対象外工事の場合は、「成績評定対象外」である旨を「工事成績評定点」欄に記載すること。(島根県以外の発注工事は、成績評定対象外であることを確認するための発注者の証明書の写し(資料⑧)も追加添付すること。)
 - ⑦ 資料①または資料②のみでは同種工事の施工実績(工事概要)が確認できない場合は、確認できる資料(工事名と設計の変更回数を確認できる最終図面等)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)＋項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
 - ⑧ 発注者の証明書の写し。(上記資料①～⑦で確認できない記載内容(コリンズ登録番号を除く。)を全て証明してあるもの。)
 - ⑨ 施工実績として提出する工事の「工事種別」及び「建設工事の種類」が確認できる資料
- 資料①～⑨で確認できる内容

項目名		資料番号									備考
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
工事名称等	工事名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(コリンズ登録番号)	○									①のみ対象
	発注機関名	○	○	○	○	○	○		○	○	
	工事種別、建設工事の種類	○							○	○	
	施工場所	○		○		○			○	○	
	請負金額(最終・税込)	○		○	○	○			○		
	契約上の工期	○		○	○	○	○		○		
	受注形態	○		○	○	○	○		○		
	特別(特定)JVの場合、出資比率	○							○		JV工事のみ対象
工事成績評定点					○		○		○		成績評定対象外工事の場合、⑧が必須(島根県発注工事以外)
工事概要		○ or △	○ or △					○ or △	○		②、③、④、⑤を必要に応じて追加添付

※1: 上表の「○」は資料で確認ができるもの、「△」は全ては確認できないもの。

※2: 上表の資料②、③、④、⑤、⑥の「○」と「△」は、島根県発注工事の場合。

(参考) 代表的な提出資料の組合せ

パターン名	条件1	条件2	提出資料の組合せ
パターン1	・コリンズと別資料を提出する場合	コリンズのみで工事概要が確認可能。	①+④ ①+⑥
パターン2		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終の見積参考資料を追加添付。	①+②+③+④ ①+②+③+⑤+⑥
パターン3		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。	①+③+④+⑦ ①+③+⑤+⑥+⑦
パターン4		コリンズのみで工事概要が確認できない。発注者の証明書を追加添付。	①+⑧
パターン5	・別資料のみを提出する場合	最終の見積参考資料で工事概要が確認可能。	②+③+④+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑨
パターン6		最終の見積参考資料で工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。	②+③+④+⑦+⑨ ②+③+⑤+⑥+⑦+⑨
パターン7		発注者の証明書等、必要な資料を添付。	⑧ ⑧+⑨

- (2) 施工実績が2回以上ある場合は、代表的なものの2回分の提出でよい。
- (3) 特別(特定)JVで施工した工事については、出資比率20%以上の場合にのみ施工実績として認める。
- (4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

(様式-7)

評価項目(2)-③

企業の優良工事表彰(優良工事施工団体表彰)

会社(企業体)名: ○○建設

対象工事	対象年度 対象機関	島根県内の公共事業において、令和4年度から令和8年度に、島根県及び中国地方整備局発注工事で受けた優良工事表彰(優良工事施工団体表彰)
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

表彰者の区分	
受賞年度	※竣工年度ではありません
工事名	
工事種別	
建設工事の種類	

- (1) 島根県発注工事は資料添付が不要。
- (2) 中国地方整備局発注工事は表彰状等の写しを添付すること。また、発注者から表彰実績に関する資料が提示された場合は、その写しの添付でもよい。
- (3) 表彰の受賞が2回以上ある場合は、代表的なもの1回分の提出でよい。
- (4) 工事名は、「契約工事名」で記入すること。
- (5) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

(様式-8)
評価項目(2)-④

登録基幹技能者の配置

会社(企業体)名: ○○建設

対象: 登録機械土工基幹技能者の現場への配置者数

現場への配置者数	
----------	--

- (1) 現場に配置する登録基幹技能者は、主任技術者(下請企業も含む)及び監理技術者以外の技術者を対象とする。

配置予定技術者の継続学習

会社(企業体)名: ○○建設

対象: 配置予定の主任(監理)技術者が保有するCPDSユニット

配置予定技術者氏名		保有するCPDSユニット		※評価結果 (発注者記載欄)
①			ユニット	
②			ユニット	
③			ユニット	

- (1) 保有CPDSユニットが確認できる資料として、一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会が発行した「継続学習制度(CPDS)学習履歴証明書」を添付すること。
- (2) 「継続学習制度(CPDS)学習履歴証明書」は、令和2年度から入札公告日前日時点(令和8年9月29日時点)までに取得している保有CPDSユニットが確認できるものを添付すること。
- (3) 技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、複数の候補者を記入できる。その場合、審査は候補者のうち配置予定技術者の評価点合計が最も低い者で評価する。
- (4) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

配置予定技術者の同種工事の施工経験
会社(企業体)名: ○○建設

対象工事	対象期間・対象機関		平成28年度から入札公告日前日までに完成及び引き渡しが完了した島根県発注工事					
	同種工事の定義		監理技術者(監理技術者補佐を含む)、主任技術者または現場代理人として担当した、矢板長4.5m以上の鋼矢板(圧入方式)打設工を含む完成及び引き渡し完了した工事をいう。 ただし、鋼矢板打設工(圧入方式)着手から完了まで従事していなければ加点の対象として認めない。 また、工事成績評定点が73点未満の場合のものは施工経験として認めない。					
	工事種別		一般土木工事、維持修繕工事					
	建設工事の種類		土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事					
配置予定技術者 氏名			①					
工事内容			施工経験①			施工経験②		
工事名称等	工 事 名							
	コリンズ登録番号							
	発注機関名							
	施工場所							
	請負金額(最終・税込)		円			円		
	契約上の工期	(始)	年	月	日	年	月	日
		(終)	年	月	日	年	月	日
	従事期間	(始)	年	月	日	年	月	日
		(終)	年	月	日	年	月	日
	従事時の役職							
	受注形態							
	特別(特定)JVの場合、出資比率							
工事種別								
建設工事の種類								
工事成績評定点			点			点		
工事概要	(以下、工事数量等を求めた場合) 施工規模							
	形式							

(1) 施工経験(上表記載内容)全てが確認できるよう下表を参考に資料①～⑪を組み合わせ提出すること。

- ① コリンズの「登録内容確認書」の写し。(竣工登録に限る。)
- ② 最終の見積参考資料(設計の変更回数を確認できる総括情報表と工事内訳表)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)＋項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)＋技術者の従事期間が確認できる資料(資料⑧及び資料⑨)を追加添付すること。
- ③ 当初、変更を含む契約書全ての写し。
- ④ 項目別評定点表。(島根県発注工事に限る。)
- ⑤ 竣工検査済証の写し。
- ⑥ 工事成績評定通知書の写し。ただし、工事成績評定対象外工事の場合は、「成績評定対象外」である旨を「工事成績評定点」欄に記載すること。(島根県以外の発注工事は、成績評定対象外であることを確認するための発注者の証明書の写し(資料⑩)も追加添付すること。)
- ⑦ 資料①または資料②のみでは同種工事の施工実績(工事概要)が確認できない場合は、確認できる資料(工事名と設計の変更回数を確認できる最終図面等)。ただし、必ず当初、変更を含む契約書全ての写し(資料③)＋項目別評定点表(資料④)もしくは竣工検査済証の写し(資料⑤)を追加添付すること。
- ⑧ 技術者の従事期間(始)と従事時の役職が確認できる資料(契約時の技術者が確認できるコリンズの「工事カルテ」もしくは「登録内容確認書」の写し等)。
- ⑨ 技術者の従事期間(終)と従事時の役職が確認できる資料(最終の計画工程表兼工事履行報告書等)。(発注者が押印した資料の写しに限る。)
- ⑩ 発注者の証明書の写し。(上記資料①～⑨で確認できない記載内容(コリンズ登録番号を除く。)を全て証明してあるもの。)
- ⑪ 施工経験として提出する工事の「工事種別」および「建設工事の種類」が確認できる資料

資料①～⑪で確認できる内容

項目名		資料番号											備考
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
工事名称等	工事名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(コリンズ登録番号)	○											①のみ対象
	発注機関名	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
	施工場所	○		○		○			○	○	○	○	
	請負金額(最終・税込)	○		○	○	○				○	○		
	契約上の工期	○		○	○	○	○		△	○	○		⑧の場合、始期のみ
	従事期間	○							△	△	○		⑧、⑨は両方必要
	従事時の役職	○							△	△	○		
	受注形態	○		○	○	○	○		○	○	○		
	特別(特定)JVの場合、出資比率	○									○		JV工事のみ対象
	工事種別	○									○	○	
	建設工事の種類	○									○	○	
工事成績評定点					○		○				○		成績評定対象外工事の場合、⑩が必須(島根県発注)
工事概要		○ or △	○ or △					○ or △			○		②、③、④、⑤を必要に応じて追加添付

※1: 上表の「○」は資料で確認ができるもの、「△」は全ては確認できないもの。

※2: 上表の資料②、③、④、⑤、⑥の「○」と「△」は、島根県発注工事の場合。

(参考) 代表的な提出資料の組合せ

パターン名	条件1	条件2	条件3	提出資料の組合せ
パターン1	・コリンズと別資料を提出する場合	コリンズのみで工事概要が確認可能。	契約工期と技術者の従事期間が同じ。	①+④
パターン2		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終の見積参考資料を追加添付。		①+⑥
パターン3		コリンズのみで工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。		①+②+③+④
パターン4		上記パターン1～3のいずれかに該当。		①+②+③+⑤+⑥
パターン5	・別資料のみを提出する場合	最終の見積参考資料で工事概要が確認可能。	契約工期と技術者の従事期間が異なる。	①+③+④+⑦
パターン6		最終の見積参考資料で工事概要が確認できない。最終図面等を追加添付。		①+③+⑤+⑥+⑦
パターン7		最終の見積参考資料等、必要な資料を追加添付。		パターン1+⑧+⑨
パターン8				パターン2+⑧+⑨
				パターン3+⑧+⑨
			技術者の従事期間を確認できる資料の追加添付が必要。	②+③+④+⑧+⑨+⑪
				②+③+⑤+⑥+⑧+⑨+⑪
				②+③+④+⑦+⑧+⑨+⑪
				②+③+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑪
				⑩
				⑩+⑪
			技術者の従事期間を確認できる資料が準備できない。	⑩
				⑩+⑪

- (2) 施工経験が2回以上ある場合は、代表的なもの2回分の提出でよい。
- (3) 技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、複数の候補者を記入できる。その場合、審査は候補者のうち配置予定技術者の評価点合計が最も低い者で評価する。
- (4) 同種工事施工経験時の所属会社は問わない。(現在の所属会社以外のものも記載できる。)
- (5) 特別(特定)JVで施工した工事については、出資比率20%以上の場合にのみ施工実績として認める。
- (6) 担当技術者としての同種工事の施工経験はコリンズの登録(竣工登録に限る。)がなければ申請できない。(担当技術者の施工経験が評価対象として入札説明書に記載されている工事のみに適用)
- (7) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

配置予定技術者の同種工事の施工経験
会社(企業体)名: ○○建設

対象工事	対象期間・対象機関	平成28年度から入札公告日前日までに完成及び引き渡しが完了した島根県発注工事		
	同種工事の定義	監理技術者(監理技術者補佐を含む)、主任技術者または現場代理人として担当した、矢板長4.5m以上の鋼矢板(圧入方式)打設工を含む完成及び引き渡しが完了した工事をいう。		
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事		
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事		
配置予定技術者 氏名		②		
工事内容		施工経験①	施工経験②	
工事名称等	工 事 名			
	コリンズ登録番号			
	発注機関名			
	施工場所			
	請負金額(最終・税込)	円	円	
	契約上の工期	(始)	年 月 日	年 月 日
		(終)	年 月 日	年 月 日
	従事期間	(始)	年 月 日	年 月 日
		(終)	年 月 日	年 月 日
	従事時の役職			
	受注形態			
	特別(特定)JVの場合、出資比率	%	%	
	工事種別			
建設工事の種類				
工事成績評定点		点	点	
工事概要	(以下、工事数量等を求めた場合) 施工規模			
	形式			

(1) 注意事項は、配置予定技術者①用の技術資料を参照。

配置予定技術者の同種工事の施工経験
会社(企業体)名: ○○建設

対象工事	対象期間・対象機関	平成28年度から入札公告日前日までに完成及び引き渡しが完了した島根県発注工事		
	同種工事の定義	監理技術者(監理技術者補佐を含む)、主任技術者または現場代理人として担当した、矢板長4.5m以上の鋼矢板(圧入方式)打設工を含む完成及び引き渡し完了した工事をいう。		
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事		
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事		
配置予定技術者 氏名		③		
工事内容		施工経験①	施工経験②	
工事名称等	工 事 名			
	コリンズ登録番号			
	発注機関名			
	施工場所			
	請負金額(最終・税込)	円	円	
	契約上の工期	(始)	年 月 日	年 月 日
		(終)	年 月 日	年 月 日
	従事期間	(始)	年 月 日	年 月 日
		(終)	年 月 日	年 月 日
	従事時の役職			
	受注形態			
	特別(特定)JVの場合、出資比率			
	工事種別			
建設工事の種類				
工事成績評定点		点	点	
工事概要	(以下、工事数量等を求めた場合) 施工規模			
	形式			

(1) 注意事項は、配置予定技術者①用の技術資料を参照。

(様式-11)

評価項目(3)-③

配置予定技術者の優秀建設技術者表彰

会社(企業体)名: ○○建設

対象 工事	対象年度 対象機関	島根県内の公共事業において、令和4年度から令和8年度に、島根県及び中国地方整備局発注工事で主任(監理)技術者または現場代理人として受けた優秀建設技術者表彰
	工事種別	一般土木工事、維持修繕工事
	建設工事の種類	土木一式工事、とび・土工・コンクリート工事、しゅんせつ工事

配置予定技術者 氏名	①	
表彰の区分		
受賞年度		
工事名		
工事種別		
建設工事の種類		

配置予定技術者 氏名	②	
表彰の区分		
受賞年度		
工事名		
工事種別		
建設工事の種類		

配置予定技術者 氏名	③	
表彰の区分		
受賞年度		
工事名		
工事種別		
建設工事の種類		

- (1) 島根県発注工事は資料添付が不要。
- (2) 中国地方整備局発注工事は表彰状等の写しを添付すること(発注者から表彰実績に関する資料が提示された場合は、その写しの添付でもよい)。
- (3) 表彰の受賞が2回以上ある場合は、代表的なもの1回分の提出でよい。
- (4) 工事名の欄は、「契約工事名」で記載すること。
- (5) 表彰時点の所属会社は問わない。(現在の所属会社以外のものも記載できる。)
- (6) 技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、複数の候補者を記入できる。その場合、審査は候補者のうち配置予定技術者の評価点合計が最も低い者で評価する。
- (7) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

事業継続計画(BCP)認定及び防災協定の締結実績

会社(企業体)名: ○○建設

a.事業継続計画(BCP)認定

対象: 入札公告日前日時点(令和8年9月29日時点)での事業継続計画(BCP)の認定状況

認定の有無	認定年月日	認定の有効期限

(1) 中国地方整備局長が認定した「地域建設業の事業継続計画認定証」の写しを添付すること。

b.防災協定の締結実績

対象: 令和6年度及び令和7年度における島根県との防災協定の締結実績

令和6年度の協定締結実績の有無	
令和7年度の協定締結実績の有無	

- (1) 対象年度において、島根県との防災協定の締結実績の有無を記載すること。
- (2) 協定を締結した団体の構成員はもとより、協定に参加している協力企業等も対象とする。ただし、評価の対象者は、団体が所管する地域内に建設業法に規定する営業所を有する者に限る。また、年度途中で脱退した場合、年度途中から加入した場合はその年度の契約締結実績として認めない。
- (3) 協力企業等の場合、企業名が明示された協定書等の写しや団体の代表者の証明書など、協定に参加している企業であることがわかる資料を添付すること。

(様式-13)

評価項目(4)-②

ボランティア活動又はハートフルしまねへの参加実績
会社(企業体)名: ○○建設

対象: 令和6年度及び令和7年度における島根県内で実施されたボランティア活動又はハートフルしまねへの参加実績

○企業としてのボランティア活動への参加実績

対象年度	活動年月日	活動内容	活動箇所	年度間延べ参加人数	従業員数
令和6年度					
令和7年度					

- (1) 活動したことを証明する資料と活動箇所が確認できる資料を添付すること。
- (2) 参加人数が10名未満の場合、従業員数の欄に当該活動時点の常用雇用労働者と短時間労働者の合計人数を記載すること。
- (3) 入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。
- (4) ボランティア活動を複数日で行った場合、参加実績は重複者を含んだ合計人数とする(延べ人数)。従業員数は当該活動時点のものとする。

○企業としてのハートフルしまねの参加実績

対象年度	活動箇所	年度間延べ参加人数	従業員数
令和6年度			
令和7年度			
登録団体名			

- (1) 活動箇所が確認できる資料を添付すること。
- (2) 参加人数が10名未満の場合、従業員数の欄に当該活動時点の常用雇用労働者と短時間労働者の合計人数を記載すること。
- (3) 入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。
- (4) 従業員数は当該活動時点のものとする。

(様式-14)
評価項目(4)-③

県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績

会社(企業体)名: ○○建設

対象: 令和6年度及び令和7年度の県管理公共土木施設に関する維持管理業務または海岸漂着物の回収業務の契約実績

評価対象地域	島根県内
--------	------

令和6年度

発注機関	委託月数 (自動計算)	委託期間	業務名	施工箇所(旧市町村名)
		上段:着手日/下段:完了日		
	0.0ヶ月			

令和7年度

発注機関	委託月数 (自動計算)	委託期間	業務名	施工箇所(旧市町村名)
		上段:着手日/下段:完了日		
	0.0ヶ月			

- (1) 対象年度において、県管理公共土木施設に関する維持管理業務(発注機関は問わない。島根県発注業務においては県が認めた下請け業務も含む。)または島根県発注の海岸漂着物の回収業務の契約実績(県が認めた下請け業務も含む。)のうち、1回の契約期間が5ヶ月以上のものについて記入すること。
- (2) 1回の契約期間が両年度にわたるものは、契約期間の長い方の年度に契約実績を記入すること。
- (3) 1回の契約期間が1年5ヶ月以上の場合、両年度とも契約実績として記入する。
- (4) 契約実績を確認する資料として、当該年度の業務内容の分かる資料(契約書、下請負人通知書、施工体制台帳、下請契約書、注文書・請書、発注者の実績証明証等の写し)を添付すること。
- (5) 上記(4)の資料で評価対象地域が確認できない場合は、確認できる資料(位置図)を追加添付すること。
- (6) 上記事項の外、入札説明書本文にある要件を必ず確認すること。

県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績

会社(企業体)名: ○○建設

対象: 令和6年度及び令和7年度の県管理道路・空港を含む除雪業務の契約実績

評価対象地域	島根県内
--------	------

令和6年度

発注機関	元請・下請 区分	委託期間	業務内容	施工箇所(旧市町村名)
		上段:着手日/下段:完了日		

令和7年度

発注機関	元請・下請 区分	委託期間	業務内容	施工箇所(旧市町村名)
		上段:着手日/下段:完了日		

- (1) 対象年度において、県管理道路・空港を含む除雪業務(凍結防止剤散布業務を含む。)の契約実績(島根県発注業務においては県が認めた下請け実績も含む)について記載すること。
- (2) 契約実績を確認する資料として、当該年度の業務内容の分かる資料(契約書、下請負人通知書、施工体制台帳、下請契約書、注文書・請書、発注者の実績証明証等の写し)を添付すること。
- (3) 上記(2)の資料で評価対象地域が確認できない場合は、確認できる資料(位置図)を追加添付すること。

(様式-16)
評価項目(4)-⑤

建設キャリアアップシステム(CCUS)の活用

会社(企業体)名:

対象: 当該工事における建設キャリアアップシステム(CCUS)の活用することの確約

※活用とは、建設現場にカードリーダーを設置するなどして、技能労働者の就業履歴を蓄積することをいう

確約の有無	
-------	--

※記入がない場合は「無」と判断する。

※「有」の場合は、建設キャリアアップシステム活用確約書を提出すること。

建設キャリアアップシステム活用確約書

住 所
商号又は名称
代 表 者 名

下記工事の施工にあたり、建設キャリアアップシステムを活用することを確認します。

記

1 工事名

2 確約内容

島根県建設キャリアアップシステム活用促進実施要領に基づき、建設現場にカードリーダーを設置するなどして、技能労働者の就業履歴を蓄積する。

3 承諾事項

- ・工事完成後に実績確認のための証拠書類(「現場・契約情報」の出力帳票など)を発注者に提出し確認を受ける。
- ・確約した工事で活用しなかった場合は、工事成績評定で減点となる。